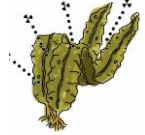


# 福島原発の処理汚染水が海洋放出されれば 放射能は海藻・魚介類に年々蓄積し食卓に上る

全漁連の反対決議を支持し、放出反対の声を上げよう

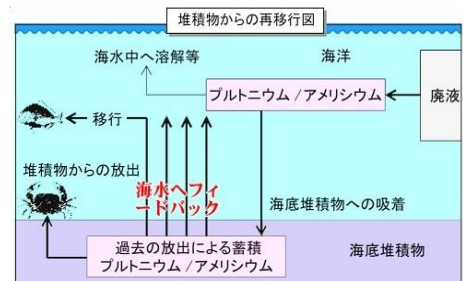


原子力規制委員会は7月22日、多くの反対の声を踏みにじり、処理汚染水の海洋放出を認可しました。東京電力は今後、福島県、大熊町及び双葉町の事前了解を得て、来年春にも海洋放出を実施しようとしています。他方、全漁連は海洋放出に一貫して反対しています。これを支持し、水産資源と海を放射能から守るため、海洋放出反対の声を上げていきましょう。

(カラーリーフより一部紹介)

問題の核心は、福島事故によって膨大な量の放射能が排出されたのに、その膨大さをわざと隠すような取扱いがなされていることにある。そのカラクリの第1は、汚染水を海水で薄め、約32年間かけて小分け放出すること、第2に、年々放出された放射能は海底土等に蓄積せず、各年の被ばくはその年の放出放射能だけで決まるという勝手な想定にある。

実際には、海底土や海藻等への移行・蓄積と海水への逆移行(フィードバック)の作用により、放射能は年々蓄積されていく。蓄積された放射能を内蔵する魚介類等が人々の食卓に上ることになる。



## リーフの項目

1. 放出放射能の年々の蓄積が考慮されない
2. セラフィールドの教訓
3. セラフィールド近海におけるフィードバック効果
4. フィードバックによる年々の蓄積効果
5. 藻場の役割が考慮されていない
6. 全漁連の反対決議を支持し、海洋汚染反対の声を上げよう

補足1：ALPS処理汚染水の海洋放出計画の概要

補足2：海洋での放出放射能の蓄積が完全に無視されている

頒価 20円 (100部以上：@15円/ 500部以上：@10円)

送料はご負担をお願いします。A4で4頁 (A3二つ折り)

ご注文はこちらへ FAX：06-6367-6581 メール [mihama@jca.apc.org](mailto:mihama@jca.apc.org)

郵便振込 00950-6-308171 美浜の会

発行：美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 (略称：美浜の会) リーフ発行日：2022.7.20

協力：避難計画を案ずる関西連絡会

連絡先：大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 美浜の会 TEL：06-6367-6580 FAX：06-6367-6581